

令和 7 年度学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立余丁町小学校

■ 学校の共通目標 【HP公開用 令和 7 年】

授業作り	重 点	一人ひとりが伝えたい思いや考えをもち、適切に表現する力を高めることができるように、課題を的確に捉え、主体的に考えることができる授業を工夫する。
環境作り		多様な交流の場を設定し、相互評価等、児童相互を通して良さを認め合い高め合う活動を工夫し、支持的風土を醸成する。

■ 学年の取組について 中間評価結果を受けて、以下の変更を加えました。

・新規取組事項（太字） ・重点取組事項（太字下線） ・重点取組事項内新規取組（太字二重下線）

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		【国語】 - 姿勢や口形、発声、発音に注意して話すこと。 - 字形に気を付けて、文字を丁寧に書くこと。 - 単語や文節として文章の意味を捉えること。 - 自分の考えを文章にして、書いたり伝えたりすること。 【算数】 10の補数がすぐに分かるようになること。 - 加減計算の式の表し方や計算の仕方を考え、計算すること。	【国語】 ①音読の姿勢図を活用した指導。 ②母音の口形、発音、発声の反復練習。 ③鉛筆の持ち方や姿勢の声かけと、平仮名の手本を活用した指導。 ④ひらがなの定着、音読する時間の確保 ⑤具体的な文章の書き方の指導や小グループで伝える活動や設定。 【算数】 ①具体物や半具体物を用いた操作活動の機会の計画的な設定。 ②授業内に習熟の時間を設定。 ③家庭学習、朝学習による継続的な計算練習・ドリルの活用。
2 学 年		【国語】 - 文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 - 文章の内容を理解し、叙述をもとに自分の考えを書くこと。 - 自分の考えを相手に伝えたり、話の中心に気を付けながら、大事なことを落とさずに聞いたりすること。 【算数】 - 計算の方法を理解し、問題を解くこと。 - 文章問題の内容を読み取り、正確に立式すること。 - 計算や立式の方法を相手に説明すること。	【国語】 ①確かめや復習、再テストなどによる継続的な学習時間の設定。 ②叙述から自分の考えを引き出すためのワークシートの使用。 ③メモの取り方の指導や、小グループでの話し合い活動の設定。 ④一人で音読する時間の確保。 【算数】 ①朝学習やタブレット端末、プリントなどを使用した反復学習。 ②解き方のパターンを提示し、文章問題に繰り返し取り組む指導の充実。 ③小グループでの話し合い活動の設定。

3 学 年	【国語】 ○読むことの学習で、サイドライン等を確実に言い、言葉に着目し、理解したり想像したりしたことで読む力を伸ばすことができた。 ○話し合いの仕方の指導を行ったことで、話したり聞いたりする力を伸ばすことができた。 ●教科総合、基礎、応用ともに区の平均を1～3ポイント下回っている。 ●知識の定着を図る必要がある。 【算数】 ○計算練習や復習の時間を確保したことで、基礎的な計算能力を定着させることができた。 ●教科総合、基礎、応用ともに区の平均下回っている。特に応用については、4ポイント下回っていた。	【国語】 ・<u>最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。</u> ・考えた内容を、相手に伝える言葉にして表現し、伝えること。 ・文中の言葉から分かることを想像して読むこと。 ・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 ・既習の漢字、拗音・促音、カタカナ、「」かぎっこ、句読点の使用を身に付けること。 ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたこと、などから<u>書くこと</u>を選び表現すること。 ・品詞や接続詞、指示語、反対語、修飾語などの言葉がもつ役割を理解して活用すること。 ・既習の漢字を復習しつつ、新出漢字を日常から使用して覚えること。 【算数】 ・基本的な計算問題を正確に解くこと。 ・繰り上がり、繰り下がりのある問題について正しく計算すること。 ・長さやかさの単位換算や量感を習得すること。 ・かけ算九九の定着、問題の意味を捉えて立式すること。 ・<u>文章問題について、問われている内容を正確に捉え、問題を解くこと。</u>	【国語】 ①話し方と聞き方の日常的な指導。 ②<u>ペアや小グループなどでの話し合い活動の設定。</u> ③一人読みの時間の確保。 ④読みの視点やサイドラインの引き方の提示。 ⑤<u>主語・述語に加えて、修飾語を意識させた具体的な文章の書き方の日常的な指導。</u> 【算数】 ①朝学習や家庭学習でのデジタルや冊子を活用したドリル学習。 ②デジタル教科書や模型等を活用した数量感覚の涵養。 ③<u>数直線、式、言葉、図などを用いて考えを説明する機会の設定。</u>
4 学 年	【国語】 ○新宿区学力定着度調査では、教科総合、基礎共に区の平均正答率を上回り、観点・領域別にみても全て区平均を上回った。 ○読むことの学習で、サイドラインの指導を行い、本文に着目し、理解したり想像したりすることを徹底したことで読む力を伸ばすことができた。 ●書くことが区の平均を上回ってはいるが、48.1ポイントと低い。構成や表現の工夫等の学習を充実させるとともに、主述の関係等、基本的な文型を身に付けていく必要がある。	【国語】 ・メモしたりイメージしたりしながら聞き、正確に理解すること。 ・物語や説明文の構造をとらえ、文章の中から重要な情報を抜き出して、簡単な言葉でまとめること。 ・自分の思いや経験を、伝えたいことを明確にしながら順序良く話したり、書いたりして表現すること。 ・既習の漢字、文法、拗音・促音、カタカナ、「」かぎっこ、句読点の使用を身に付けること。 ・友達の考えと自分の考えの相違点や共通点を意識しながら、話し合うこと。	【国語】 ①話を聞いたり、ペアで話し合ったりすることの日常的な習慣づけ。 ②文にサイドラインをひき、一人読みする時間を確保。 ③作文用紙やタブレット端末の活用など、自分に合った方法を児童が選択。 ④<u>大きな行事など、話したくなり、書きたくなるような作文の機会を設定。</u> ⑤漢字や文法など、見直しの習慣がつくよう、その都度声掛け。 ⑥各単元で自分の考えを言語化し、ノートやワークシートに書く時間を確保。

	【算数】 ○新宿区学力調査では、教科総合、基礎、応用すべてで、区の平均正答率を上回り、観点・領域別にみても全て区平均を上回った。 ○学力層の D 層が 36.7%から 14.5%まで 22.2 ポイント減少した。 ○計算を中心に復習の時間を年間通して確保したことで、基礎的な学力の向上を図ることができた。 ●学力層の C 層が 32.3%と依然高水準である。基礎・基本の復習を丁寧に行い、継続的に学力の向上を図る必要がある。	【算数】 ・かけ算九九の定着 ・大きな数での、繰り上がりや繰り下がりのある計算、かけ算やわり算など、基礎的な問題を正確に解けること。 ・分数や小数、平衡・垂直や角度、面積や周囲の長さなどの概念と、それらを活用した計測や計算の仕方を習得すること。 ・式、図、文などを用いて自分の考えを説明すること。 ・文章問題について、問われている内容を正確に捉えて立式し、問題を解くこと。 ・友達との意見交流を通し、考えを広げたり深めたりする楽しさを知ること。	【算数】 ①朝学習や家庭学習でのドリル練習。 ②数の大きさや位に注目できるよう、位取り表などのツールの活用。 ③形の感覚や、計算の意味などをイメージしやすいよう、身の回りにあるものや興味をもてる題材を用いる。 ④問題を解くだけではなく、考え方をノートなどに書いたり、友達と意見交流したりする時間の確保。
5 学年	【国語】 ○学力調査では、総合、基礎共に区の平均正答率を大幅に上回る結果だった。 ○話し合い活動の設定、継続的な家庭学習や語彙を広げることを徹底したことで、話すこと・聞くこと、言語理解の力を伸ばすことができた。 ●全領域で平均を上回ってはいたものの「書くこと」が他を下回っていた。 ●文章を日常的に書く活動を意図的に設定し、活用する力として定着させる必要がある。 【算数】 ○継続的な計算練習、デジタルドリルの活用により、基礎的な学力の向上を図り、区平均を 6 ポイント以上上回る結果となった。 ○「図形」の領域の正答率を伸ばすことができた。 ●「測定」の領域で正答率が他より下回っていたことから、コンパスや分度器などを正確に使用することについて引き続き課題を意図的に設定する必要がある。 ●思考・判断・表現の正答率が知識・技能よりも 20 ポイント下回ることか	【国語】 ・目的や意図に応じて文章の内容を正確に捉え、<u>根拠を明確にして自分の考えをもち、表現の工夫を意識して表現すること。</u> ・主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、<u>自分の考えを筋道立てて説明したり意味の通る文章にまとめたりすること。</u> ・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。 ・<u>友達との意見交流を通して共通点や相違点に気付くことで自分の考えを深めること。</u> 【算数】 ・<u>課題について、既習事項などを参考に自分の考えを筋道立てて説明すること。</u> ・繰り上がりや繰り下がりのある計算、わり算やかけ算の筆算、小数や分数の計算などの基礎的な問題を正確に解けること。 ・コンパスや分度器を用いて正確に作図ができること。 ・<u>式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</u> ・<u>友達との意見交流を通し、考えを広げたり深めたりする楽しさを知ること。</u>	【国語】 ①一人読みの時間の確保。 ②単元途中や単元末に自身の学習状況を文章で表現する振り返りの設定。 ③タブレット端末を活用し、互いの文章を読み合ったり推敲したりする時間の設定。 ④意図的に編成したグループや時間設定での交流活動の設定。 ⑤読むことの単元でも作者や筆者の文章の工夫に着目し、自ら書く文章に生かす指導。 【算数】 ①多様な思考を促す授業場面の設定と十分な課題解決時間の確保。 ②既習事項のヒントカードやワークシートなどの提示の工夫。 ③プリントやドリル問題を活用した基礎基本を反復練習する機会の設定。 ④デジタルドリルを用いた反復学習。 ⑤作図の正確さを求める指導と評価。 ⑥ペアやグループ、全体での共有時間の設定。

	ら、基礎的な学力を応用し、自分の考えを表現する力を伸ばしていく必要がある。		
6 学 年	【国語】 ○新宿区学力定着度調査では、教科総合でも基礎・応用別でも区の平均を3～6ポイント上回っている。C層、D層が4年時よりも減っていることから、学力の確実な定着が図られたことが分かる。 ○学年後半、書くことの学習で筋道だった文章を書く活動を多く取り入れたことにより、課題だった書くことの改善が見られた。 ●話すこと・聞くこと、読むことが、他領域に比べて低い。言葉を正確に捉えて思考することや言葉の意味を明確にすることなどが必要である。 【算数】 ○新宿区学力定着度調査では、教科総合でも基礎・応用別でも区の平均を3～4ポイント上回っている。 ○家庭学習による復習や単元の終末での習熟練習等により基本的な内容の定着を図れた。 ●学習内容がより抽象化し難しくなったことでC層D層の割合が増えている。既習事項の定着と活用をさらに進めていく必要がある。 ●新宿区学力定着度調査上は、知識・技能と思考・判断・表現で差は見られないが、授業の中では、思考力の不足を感じる。今後も単元の中で思考場を多く設定していくことが必要である。	【国語】 ・目的や意図を考えて、文章を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。 ・<u>主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、自分の考えを筋道立てて説明したり、意味の通る文章にまとめたりすること。</u> ・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。 ・友達との意見交流を通して共通点や相違点に気付くことで、自分の考えを深めること。 【算数】 ・小数・分数の四則計算について、正確に、速く処理すること。 ・既習事項を確実に理解することと既習事項を活用して問題の解決を図る学び方に習熟すること ・<u>式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</u> ・友達との意見交流を通し、新たな考えを知ることの楽しさと意義を知ること。	【国語】 ①目的や意図に応じて叙述を捉える視点を示し、言葉から内容を捉え、考えをもつための指導。 ②<u>伝えるべき相手への意識を明確にもち、自分の意見を、根拠を明確にして表現する指導。</u> ③難意語について、辞書等を活用して文脈から正しい意味を捉えられるようにする指導。 ④個人・ペア・全体と意見を考え交流する場の意図の設定。 ⑤デジタルドリル「主に言葉に関する内容」に取り組む時間の設定。 【算数】 ①既知の情報で満足せず、探求したいと感じる課題提示の工夫。 ②意見を比較・分類・関連付ける板書の工夫。 ③プリントやデジタルドリル問題を活用した既習事項の基礎的な反復練習する機会の設定。 ④多様な論理的な思考を促す思考場面の設定と個の思考時間、グループや全体での共有時間の確実な設定。 ⑤意見交流の意義と重要さを、実感を伴った授業展開において伝える工夫。 ⑥<u>式や図を使って、自分の考えを順序立てて論理的に記述する指導。</u>
特 別 支 援		【国語】 ・内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。 ・既習の漢字、新出漢字の読みを身に付けること。 ・自分の気持ちを文章にして、書いたり伝えたりすること。	【国語】 ①読む視点を明確にするためのサイドラインの指導。 ②音読指導の計画的設定。 ③自分の考えを表現する個の思考時間の確保。 ④気持ちを表現する語彙と文章の書き方の指導。

		【算数】 ・基礎計算の方法を理解し、正確にできるようにすること。 ・問題文を正しく読み取り、実生活に結び付けて解けること。	【算数】 ①継続的な計算練習の時間の確保。 ②生活に使用する具体物の提示。
--	--	--	--